

# いじめのない学校を目指して

## 上尾市教育委員会

いじめにより児童生徒自らがその命を絶つという痛ましい事故が相次いで発生しています。いじめは決して許されないことであり、また、どの学校でも、どの子供にも起こり得るものです。この教師用指導資料は、学校がいじめの兆候をいち早く把握して、迅速かつ組織的に対応し、いじめのない学校を実現するために作成しました。

### いじめの定義（いじめ防止対策推進法 平成25年法律第71号）

児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。

### いじめの「7つの特徴」は

- 1 いじめの初期は、言葉の暴力から始まる**
  - ・きもい・うざい・死ね・むかつく・ださい・ばい菌・くさい・ガイジなど
- 2 いじめとふざけの境界線がわかりにくく事実が見えにくい**
  - ・プロレスごっこやふざけっこなどの遊びなどから、罪悪感がなく発展する
- 3 集団化してくる**
  - ・いじめられることを恐れ、いじめる側が集団化してくる
- 4 長期化すると陰湿化・悪質化する**
  - ・いじめに気付かないと、執拗に、巧妙に長期にわたっていじめを続ける
- 5 場面が変われば立場も変化する**
  - ・小学校ではいじめる側だったのに、中学校では自分がいじめられる
- 6 犯罪行為や不登校、自殺にまで追い込んでしまうことがある**
  - ・暴行、恐喝、傷害等の加害や、被害者を不登校、自殺にまで追い込んでしまう
- 7 教師の言動や姿勢がいじめを誘発することがある**
  - ・教師の不用意な発言や児童生徒への接し方が、児童生徒をいじめの対象にしてしまう

## いじめに気付くためには

### ○ いじめはあるものと思う

いじめはないと思い込んでしまうと、見えるものも見えなくなる。教職員 一人一人が「いじめがあるかもしれない」との認識に立って組織的・継続的に観察を続け、生徒に「いじめは絶対許さない」ことを常に発信する。

### ○ いじめは教師の目の届かないところで多く行われる

いじめは、登下校時・休み時間・昼休み・清掃時・放課後・部活動時など教師の目が届きにくいところで多く行われる。児童生徒一人一人に十分な「目配り・気配り・心配り」に努め、教師間の情報交換を密にする。

### ○ いじめに気付かない・注意しない教師の前では、だんだんエスカレートする

教師がいじめに気付かないと、いじめをさらに進めてしまうことになる。また、いじめを注意しない教師は、児童生徒から信頼されず、相談されることもなくなる。誠意をもった態度が相談しやすい「先生」になる。

### ○ 保護者との連携及び信頼関係の醸成

些細なことでも、学校での児童生徒の変化を保護者へ連絡するとともに、家庭の様子を聞くなど、迅速で誠意ある対応が、保護者との信頼関係を醸成する。保護者との信頼関係は、いじめを早期に発見し解決する上で極めて大切である。

### ○ 携帯電話やインターネットの利用実態を把握するための調査を行う

ネットいじめは、時間と場所を選ばず、いつでも行われる危険性がある。児童生徒の携帯電話やスマートフォン、インターネットの利用実態等を把握し、情報モラル教育等により具体的な事例を挙げ、予防に努めることが大切である。

クラスで取り組む「いじめをなくす3つの誓い」

「私はいじめを絶対しません」

「私はいじめを許しません。いじめられている人を助けます」

「わたしは一人で悩まず、先生や親に相談します」

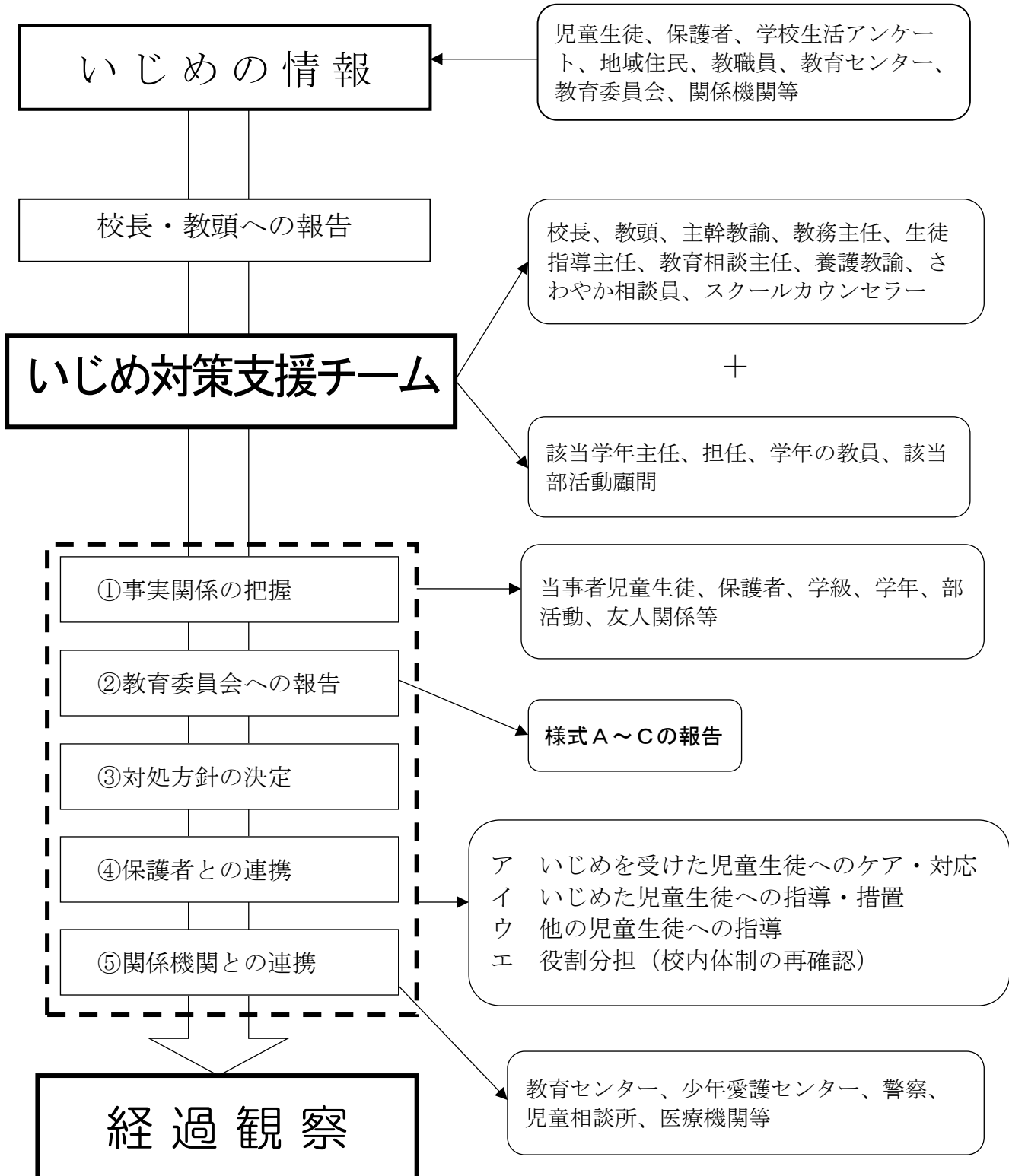
## いじめのサインを見逃さない ～場面ごとの具体的な着眼点とは～

◎ 以下の項目に当てはまる場合は、直ちに児童生徒に声をかける。

- 【登校】
  - 登校時刻が遅れがちである。
  - 表情が暗く、あいさつの声が小さい。
  - 服装が汚れたり破れたりしている。
- 【健康観察】
  - 遅刻や欠席が続いている。
  - 腹痛や頭痛が続いている。
  - 話しかけても目を合わせようとしない。
- 【授業中】
  - おどおどした様子が見られる。
  - 発表を笑われたり、からかわれたりしている。
  - 班やグループを作る時に孤立している。
  - 提出物や学習用具を続けて忘れる。
  - 机が離されていたり、配布物がとばされたりしている。
  - 教科書やノートに落書きが多く見られる。
- 【休み時間】
  - 遊んでいるときにも笑顔が少なく、表情が暗い。
  - 周りから、ちょっかいを出されている。
  - 職員室や保健室に出入りすることが多い。
  - 人目の付かない場所に行くことが多い。
- 【給食・清掃】
  - 給食配膳時に避けられる様子が見られる。
  - 給食の食べ残しが多い。
  - 周囲の友だちと会話が弾まない。
  - 準備や片付けなど、仕事を押しつけられている。
  - 清掃時に机を運んでもらえない。
- 【下校】
  - 下校時刻になっても学校に残ろうとする。
  - 一人で帰ることが多い。
- 【その他】
  - 作品や掲示物、机等に落書きや破損が見られる。
  - 持ち物等が隠されたり、なくなったりすることがある。
  - 欠席の日にプリント類を届ける友だちが少ない。
  - 日記等に、嫌だったことなどをよく書いてくる。
  - 急激な成績や学習意欲の低下が見られる。

# いじめが生じた際は

- \*いじめの訴えや情報、その兆候等は、どんな些細なものでも真剣に受け止める。
- \*特定の教職員が抱え込むことなく、学校全体で組織的に対応する。
- \*家庭や関係機関との連携を密にし、学校のみで解決することに固執しない。
- \*いじめを継続させないために、必要に応じて弾力的に対応する。



## 小学校の取組例

### 【取組例 1】 いじめ対策支援チームによる対処

5年生男子数名が、運動会を機に学級内の気弱な児童に対して、からかいや挑発をして興奮させ面白がる傾向が見られた。担任は、しばらく様子を見ることにしたが、からかいはやまず、数日後、いじめられている児童の保護者から相談を受けた。

- 1 担任は学年主任とともに、保護者から話を聞き、いじめをなくすために指導することを約束した。
- 2 担任と学年主任は、教頭、主幹教諭に報告し、今後の対処の指示を受けた。
- 3 校長は、教頭から報告を受けるとともに、「いじめ対策支援チーム」を開催して対処に関する役割分担を決めるよう指示した。
- 4 「いじめ対策支援チーム」で、それぞれの役割分担を次のように決めた。
  - ア 担任と児童の元担任が、いじめを受けた児童と保護者から状況を聞く。
  - イ 学年の教員が、学年主任や主幹教諭、生徒指導主任等とチームを作って、いじめに関わった児童一人一人から事情を聞く。
  - ウ 担任が、いじめられている児童に近い友だちから状況を聞く。
- 5 「いじめ対策支援チーム」で、事実関係の報告を聞き、指導の方針を決定した。
  - ア いじめに関わった児童といじめられた児童に対して、複数の教員で個別に指導する。
  - イ 担任と学年主任等のチームで、いじめを受けた児童の保護者の思いをよく聞くとともに、学校の方針を伝え、保護者の協力を得るようにする。
- 6 学級通信や保護者会を通して、保護者にもいじめの問題を自分のこととして捉えてもらった。
- 7 学年の教員を中心に経過を観察した。

### 【取組例 2】 いじめのない学校を目指して

**いじめのない学校を目指して、学校・学年で組織的に計画的に取り組んでいる。**

- 1 学習規律や生活規律の定着を目指して、規律ある態度の育成に全校で計画的に取り組んでいる。
- 2 学級を超えて少人数指導を実施し、一人一人のよさを伸ばす学習形態を工夫している。学年の教師が全児童を指導する体制の確立に努めている。
- 3 学校・学年行事で児童の自主的活動の場を設けて、学級・学校生活を充実させる。また、清掃活動などボランティア活動に取り組んでいる。
- 4 学校生活の中で、互いに助け合ったり協力し合ったりする活動を全校で推進している。（休んだ友達への手紙、縦割り集団の活動、誕生日の色紙など）
- 5 学級遊びなどを通して、教師と児童、児童同士の間関係づくりに努めるとともに、日頃の児童の気になることを把握して指導記録カードに記録し、指導に生かしている。
- 6 遊びの中で横行していた一部の児童の自分勝手な行動によって起こるトラブルを、その都度自分たちで解決させている。
- 7 教育相談週間を設け、学級担任が個別面談を通していじめやいじめの兆候について情報収集や実態把握をしている。
- 8 いじめが生じた際は、「いじめ対策支援チーム」で対応や指導方法について話し合い、迅速に対応している。
- 9 保護者の授業参観日を多く設定するなど、保護者が来校する機会を多くしている。



・  
・

5 (1) 学習指導過程

段階	○学習活動と主な発問 ・予想される児童の反応	指導場の留意点 ☆評価の視点
導入 4分	1 生命といじめのアンケートの結果を振り返り、友達の考えを知る。 ○以前行ったアンケートの結果を見てみましょう。 ・結果1 ある90% ない10% ・結果2 ストレス、まね、何気ない言葉から ・結果3 相手を思いやる、言葉を選ぶ  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         日々の生活の中で、たがいの「生命」を大切にするには、どうしたらよいだろう。                     </div>	・アンケートの結果を提示する。 ・ねらいとする道徳的価値に対する意識を高めるために、学級全体で、生命といじめとの関わりについてのアンケートの結果を大型テレビで共有し、学習問題の設定を行う。 ・道徳的価値への方向付けとともに、いじめは常に起こり得る可能性があることも押さえて問題設定を行う。
展開 前段 30分	2 教材「わたしって何」を読んで話し合う。 (1) 発問1 「この世から去れ」という共通の話題で盛り上がるのが楽しいのはなぜだろうか。 ・会話が弾むから。 ・友達とおしゃべりのためだから。 ・流行についていくためだから。 (2) 発問2 小さな紙切れに、「この世から去れ」と自分のことが書かれていたとき、幸恵はどんな気持ちだったでしょう。 ・悲しい。誰が書いたのだろう。 ・なぜこんなことを書くのか信じられない。 ・いなくなってしまいたい。 (3) 発問3 「楽しむ」ことと、たがいの「生命を大切にする」ことを両立させるには、どうしたらよいだろうか。 (中心的な発問) ・おもしろいというだけで行動しない。 ・人の立場に立って考える。 ・互いに話しやすい雰囲気の日頃からつくる。	・悩む幸恵の気持ちを考えながら教材を聴くように指示する。 ・他者との関係性の中で、つい生命を軽んじる言葉をつかうときの考え方を類推させる。 ・よくないことと分かりつつも、ついしてしまうときの考え方を類推させるために、近くの人と話し合い考えをまとめさせる。 ・生命を軽んじる言葉が、自分に向けられたときの気持ちについて話し合わせる。 ・近くの人と話し合い、自他の考え方の違いを確かめさせる。  ・全体で話し合う中で、学級の納得解を出させる。 ・一つにまとめるために、互いの主張に対する理由や根拠を基に話し合う。対話を通して自他の考え方を比べ合うが、違いを越えてまとめるという目標をもつことで、単なる相対主義的な話し合いに陥らないように工夫する。ミニホワイトボードに班でまとめた考えのキーワードを書かせ、黒板に掲示させる。 ☆「楽しむ」ことと、たがいの「生命を大切にする」ことを両立させることについて話し合い、生命のかけがえのなさについて多様な視点から考えている。(ミニボード・話し合い・発言)
展開後	3 ねらいとする道徳的価値に照らして自己を振り返る。  三角ロジック ○話し合った「生命を大切にする」方法について、あなたはどうか考えましたか。これまでのことを思い出しながら書いてみましょう。	・互いの言動が相互の関係をつくり、かけがえのない生命をより一層輝かせるものであることを自覚し、生命を尊重しようとする大切さについて、ワークシートに書くことで考えさ

段 10 分  ICT  改善する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・～という考え方に納得した。なぜなら…。</li> <li>・～という方法には無理があると思う。経験上…。</li> <li>・～という考えは一部反対だ。なぜかという…。</li> </ul>	せる。ワークシートをタブレットにアップして共有する。 ☆多様な考えを参考に、軽はずみな言動が、ときに他者の生命をおびやかすことについて書いたり、かけがえのない生命を尊重しようとする大切さについて、これまでの自分を振り返っている。(ワークシート)
終 末 1 分	4 教師の説話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との関係性をつくるはずの言葉や態度が、ときとしていじめにつながることを示すとともに、言動を大切にすることが、互いの生命を輝かせることを話す。</li> </ul>

## 6 評価の視点

### 【物事を多面的・多角的に考える様子】

- ・「楽しむ」ことと、たがいの「生命を大切にする」ことを両立させることについて話し合い、生命のかけがえのなさに  
ついて多様な視点から考えている。

### 【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・軽はずみな言動が、ときに他者の生命をおびやかすことやかけがえのない生命を尊重しようとする大切さについて、これまでの自分を振り返っている。

## 7 板書計画

<p>一、「この世から去れ」という共通の話題で盛り上がるのが楽しいのはなぜだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会話が弾む。</li> <li>・おしゃべりのため。</li> <li>・流行についていくため。</li> </ul> <p>二、小さな紙切れに、「この世から去れ」と自分のことが書かれていたとき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悲しい。</li> <li>・信じられない。</li> <li>・いなくなってしまうたい。</li> </ul>	<p>今までの自分をふり返ろう</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td><td><input type="checkbox"/></td></tr> </table>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>○月○日(○)</p> <p>「わたしって何」 幸恵</p> <p>この世から去れ!</p> <p>◎日々の生活の中で、たがいの「生命」を大切にするには、どうしたらよいだろう。</p> <p>三、「楽しむ」ことと、たがいの「生命を大切に する」ことを両立させるには。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人の立場に立って考える。</li> <li>・話しやすい雰囲気を目頃からつくる。</li> </ul>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																	